

令和4年度 事業計画

概 況

令和3年の我が国経済は、前年後半からの持ち直しの動きが続いているものの、新型コロナウイルス感染症の終息時点が見通せない中、依然として厳しい情勢に変わりはない。先行きについても、ワクチン接種の進展や新薬の提供といった光明がある一方、変異ウイルスによる感染再拡大という新たな懸念もあり、感染症が経済を下振れするリスクに引き続き十分注意する必要があるなど不透明感が漂っている。

こうした状況ではあるが、中央・地方競馬は、感染拡大防止に最善を尽くし無観客や入場制限等の手段を取りながら着実に開催され、その売り上げについては、10月末現在で中央競馬が前年比105.6%、地方競馬が同112.1%と共に好調が続いている。特に馬産地ホッカイドウ競馬は、前年比100.5%の522億9,969万円を売り上げ、2年連続で年間レコードを更新する好成績で開催を終了した。

軽種馬市場取引については、せりオンラインシステムの利用が拡大し、千葉サラブレッドセールがインターネットオークション方式で、九州1歳市場並びに北海道市場の全市場が通常せりとオンラインビッドを平行運用するハイブリッド方式で開催され、通常せりで開催した八戸市場を含め予定されていた全市場が開催された。なお、市場成績は、当歳・1歳・2歳の全市場合計で上場頭数3,213頭、売却頭数2,519頭、売却率78.4%と売却頭数が過去最高となり、年間総売上額も史上初めて400億円を超える410億3,913万円となり、取引の主流である1歳市場の売上額268億4,396万円は過去最高となった。

また、サラ系統の生産頭数は7,633頭(9月1日現在の速報値)で、5年連続で7,000頭台に達している。

以上の諸情勢を踏まえ、令和4年度、本協会は軽種馬生産地をはじめとした地域社会の健全な発展に資するため、公益目的事業の柱である種馬事業で新種牡馬ミスチヴィアスアレックス(USA)を供用開始するのをはじめ、日本産馬の海外販路拡大を目途とした国際交流、伝染病発生による被害防止を図るための防疫体制整備、生産技術の高度化等に対応するための人材養成、軽種馬改良情報システム(JBIS)を活用した競馬と生産に関する情報提供等の事業を実施するとともに、軽種馬生産者の経営を支援するための各種補助、軽種馬生産者や軽種馬せり市場支援、農業経営指導等の事業を実施する。

I. 公益目的事業

地域社会の健全な発展に資するため、全国の軽種馬生産地域において、地域経済の安定化に寄与し軽種馬生産の安定的維持・発展と競馬の健全な発展を図る以下の事業を実施する。

1. 種馬事業

軽種馬の資質改良と安定的生産等を推進するため、以下の事業を実施する。

1) 種牡馬の整備

優良種牡馬の種付による軽種馬の資質改良を促進するため、「優良種牡馬整備事業」により優秀なサラブレッド種牡馬の導入を実施する。

2) 種牡馬の管理

優良種牡馬による種馬事業を円滑に行うため、種牡馬を全国の種馬場に適正配置し、「種牡馬管理指針」に基づき適切な飼養管理を実施する。

3) 配合

資質改良を効率的に進めるため、種牡馬管理配合委員会を開催し、軽種馬改良情報システム(以下、「JBIS」)による情報を利用して適正な配合を実施する。

4) 種馬場施設の整備

種馬事業の円滑な推進のため、各種馬場における必要な施設の整備等を実施する。

5) 種馬事業利用の側面支援

種牡馬配置による地域差を補完し種付を円滑に行うため、遠隔地からの輸送により種馬場で種付を行う繁殖牝馬の所有者に対して輸送及び飼養管理に要する経費を助成する「種馬場遠隔地種付牝馬輸送費及び飼養管理費助成事業」を実施する。

6) その他国際協力

限られた種牡馬資源の国際的活用を図る観点から、海外から種牡馬利用の要望があった場合には、海外への種牡馬貸付等を実施する。

7) 引退馬の環境改善

我が国の引退軽種馬を取り巻く環境の改善・向上を図ることを目的とし、軽種馬の養老・余生等に関する取組みを行っている団体等に対して活動費を助成する「引退軽種馬環境整備対策事業」を実施する。

2. 国際交流

変動の大きい軽種馬需要に対処し、軽種馬生産を長期的に安定・発展させるため、海外における日本産馬の販路の拡大・定着を図る以下の事業を実施する。

1) 海外流通の促進

軽種馬の海外への流通促進を図るため、「軽種馬海外流通促進事業」を実施する。

(1) 海外市場及び海外取引に関する調査

日本産馬の輸出促進に必要な情報収集・調査等を行い、輸出に当たっての問題点の整理と解決方法を検討する。

(2) 海外顧客誘致活動

せり市場主催者に対し海外競馬関係者への誘致活動(プロモーション活動、海外関係者の国内招聘、海外用せり名簿の作成及び発行等)に要する経費に対し補助をする。また、インターネットを通じて英語、韓国語、中国語で日本の生産・流通に関する情報を提供する。

(3) 生産・育成技術供与

海外競馬関係者に日本産馬の飼養管理技術を付与することを目的とした技術研修及び技術指導を実施する。

(4) 検討会

事業実施に係る総括的な検討会を実施する。

2) 軽種馬輸出対策

軽種馬の海外への輸出を円滑に実施するため、静内種馬場、九州種馬場に設置されている輸出検疫施設並びに胆振輸出検疫施設の整備及び管理運営を「軽種馬海外流通促進事業」において実施する。

3. 防疫体制の整備

伝染病発生による軽種馬の被害防止を図るため、発生及び流行による影響が大きい伝染性疾病の防疫に係る以下の事業を実施する。

1) 伝染性疾病に対する防疫体制の整備

(1) 馬伝染性子宮炎(CEM)の侵入・蔓延防止及び衛生指導

馬伝染性子宮炎の再侵入防止、早期発見及び蔓延防止を目的として、国内で繁殖に初供用する牝馬及びCEMを疑う繁殖牝馬等に対してPCR検査を実施する場合の検査費用等に対する助成と、馬伝染性子宮炎発生時の対応等についての講習会等を開催する「馬伝染性子宮炎自衛防疫普及促進事業」を実施する。

(2) 3種混合ワクチン等の接種

軽種馬の感染症の蔓延を防止するため、馬飼養者に競馬場及びトレーニングセンター入厩前の育成馬に接種する3種混合ワクチン(馬インフルエンザ、日本脳炎、破傷風)及びゲタウイルス感染症ワクチンと繁殖牝馬に対する馬インフルエンザワクチンの接種、ローソニア感染症ワクチンに関しては馬への適応について薬事承認を行った後に必要な経費を助成する「育成馬等予防接種推進事業」を実施する。

2) 防疫情報の収集・伝達

伝染性疾病の蔓延を防止するため、海外悪性伝染病や監視伝染病(主として馬鼻肺炎、馬パラチフスによる流産等)の発生情報等を各関係機関に通報するとともに、内外の防疫情報を随時収集し関係者に対する伝達を実施する。

3) 馬新生子黄疸検査支援と指導

血液型に起因する馬新生子黄疸発症を予防するため、クームス検査の実施を支援するとともに、抗体陽性牝馬が出産した子馬の取扱い方に関する指導を実施する。

4) 診療の支援

軽種馬の診療体制が整備されていない地域の診療を支援するため、九州種馬場において、一般診療を実施する。

4. 人材養成

生産技術の高度化や経営体質の強化に対応するため、生産牧場への就業希望者等への技術付与及び獣医師等の技術指導者の養成を行う以下の事業を実施する。

1) 軽種馬生産技術総合研修センターにおける研修

強い馬づくりに取り組む担い手経営のニーズに対応し得る技術指導者を養成するため、「軽種馬経営高度化指導研修(軽種馬経営技術指導者養成・技術普及)事業」による以下の研修等を実施するとともに、専門技術者に対する自己研鑽の場として施設を提供する。

(1) 技術向上のための研修

①技術指導者の養成のための研修

生産地の専門技術者に対し高度な生産技術を付与するための先端技術研修として、獣医療技術、装削蹄技術、栄養管理技術等を総合化した生産育成に関する研修、技術講習等を実施する。

また、軽種馬生産牧場の経営指導を担う者に対し、経営管理技術に関する研修、技術講習等を実施する。

②牧場関係者の技術普及のための研修

生産技術を向上させ強い馬づくりに資するため、牧場関係者に対し、生産育成・経営管理等に関する技術の普及のための研修会や講演会等を実施する。

また、馬産地において喫緊の課題となっている担い手支援のための対策として、経営継承者及び後継者を対象とした研修を実施する。

③研修受講のための支援

研修を受講しやすい環境を整えるため、軽種馬の生産・育成に関する高度な知識・技術を習得する研修への参加および遠隔地からの参加に要する経費等の一部に対する補助を実施する。

(2) データの収集・分析・提供

生産技術を向上させ強い馬づくりに資するため、軽種馬の生産育成に関する情報(健康管理技術、肢蹄管理技術、栄養管理技術、草地管理技術等)を収集・分析し、関係者からのニーズが強い情報、広く提供することが効果的と判断される情報等を選定の上、随時提供する。

また、軽種馬生産者の飼養管理技術の向上に資するため、軽種馬牧場管理ソフト **SUKOYAKA** 等による客観的な数値を用いた合理的な繋養馬の管理に不可欠な体重計等の導入に必要な経費の一部に対する補助を実施する。

2) 生産育成技術者研修施設における研修

生産牧場就業従事者及び経営後継者等の生産育成に携わる人材を養成す

るため、静内種馬場内に設置している生産育成技術者研修施設において「軽種馬生産育成技術者研修」及び「後継者研修」を実施する。

3) 技術普及現地研修等

生産技術を向上させ強い馬づくりに資するため、生産者団体等に対し、生産者を対象とした技術研修等の実施に要する経費を補助する事業及び専門技術者等に対し、生産者を対象とした牧場指導に要する経費を補助する事業を「軽種馬経営高度化指導研修(軽種馬経営技術指導者養成・技術普及)事業」において実施する。

4) 軽種馬生産技術総合研修センターの整備・運営

軽種馬生産技術総合研修センターの整備・運営を、「軽種馬経営高度化指導研修事業」において実施する。

5. 競走馬の情報提供

軽種馬の資質改良、生産・流通の改善に必要な国内外の各種情報を収集整理し、軽種馬の情報を関係者や一般市民へ広く提供するため、以下の事業を実施する。

1) 改良情報の整備と提供

生産地及び競馬サークル等へ軽種馬の資質改良の指標となる情報を総合的に提供するため、「軽種馬改良情報整備事業」を実施する。

(1) データ整備

国内の産駒出生データ、日本中央競馬会、地方競馬全国協会及び公益財団法人ジャパン・スタッドブック・インターナショナルから提供されるデータ、海外に輸出された産駒及び現役繁殖牝馬に関連する海外馬の競走成績、並びにせり市場取引成績等を集積し、これらの整合性を維持する整備を行い、本協会が運営する JBIS に情報を蓄積する。

(2) 情報サービスの提供と普及

①一般利用

Web サイト「JBIS-Search」の PC 版及びスマートフォン版により、国内外の生産地、競馬サークル、一般市民を対象とし、軽種馬に関する各種情報を提供するとともに、せり市場のライブ中継や日本馬が出走する海外主要競走の現地レポートなど、コンテンツの多様化を積極的に展開する。

②専門利用

「軽種馬統計」、「全国馬名簿」及びせり市場の開催に必要な「せり名簿(和文・欧文)」を作成するためのデータを、JBIS から関係者に提供する。

③システムの更新

「軽種馬改良情報システム整備事業」において、オンラインビッド・セールシステムを含む「JBIS-Search」全体のレスポンスウェブデザイン(RWD)化を実施するため、必要なシステム開発を行う。

2) 競走馬のふるさとに関する情報収集・提供

生産地の状況を広く紹介するため、全国の主要生産地で集積した生産地情報を JBIS と連携したインターネットサービスを通じて提供する。また、生産地を訪れる競馬ファン、旅行者等に対して軽種馬生産育成牧場の見学案内や見学マナーの指導活動を行うため、各軽種馬生産地に全国 6 ヶ所の競走馬のふるさと案内所及び連絡センターを設置し、市民と軽種馬生産地をつなぐ「競走馬のふるさと情報収集提供事業」を実施する。

3) 統計資料等の作成・配付

(1) 機関誌「JBBA NEWS」の発行

毎月 10 日に刊行し、軽種馬生産者、関係機関、関係団体及び一般市民に国内外の軽種馬生産と競馬に関する情報を提供する。

(2) 軽種馬統計

公益財団法人ジャパン・スタッドブック・インターナショナルと共同で、JBIS を利用して 3 月に発行し、国内の関係機関や団体に配布する。

(3) 全国馬名簿

JBIS を利用して作成し、軽種馬生産者、国内の関係機関や団体へ配付する。

4) 広報活動

本協会の事業内容、生産地の状況、国内外のせり市場の状況、国内競馬に関する情報、種牡馬のプロフィール及びランキング等を JBBA NEWS 及びホームページを通じて提供し、生産に関連する情報を広く周知することに努める。

Ⅱ. 相互扶助事業

軽種馬生産者の経営支援のため、軽種馬生産者やせり市場主催者を対象とした以下の事業を実施する。

1. 各種補助事業

1) 生産基盤となる草地の整備

良質な競走馬を生産育成するため、狭隘な放牧地の牧区の拡充、遊休農地の活用、採草地から放牧地への転換等により昼夜放牧等に対応できる一定以上の面積を有する放牧地を整備する場合、又は一定の面積を有する放牧地を再整備する場合、採草地の新規造成、既存の採草地の規模拡充等に伴い草地を整備する場合、又は一定の面積を有する採草地を再整備する場合に、その実施に必要な経費の一部を補助する「軽種馬生産基盤整備対策事業(放牧地整備事業)」を実施する。

また、同事業においては、生産牧場の担い手及び生産基盤を強化することを目的として所有する土地を拡大した者が草地(放牧地・採草地)の整備・改良に必要な機械等をリースする場合に必要な経費の一部を補助する「機械リース事業」を実施する。

さらに、新たに土地を取得または賃借しその場所に存する生産整備等の補改修を行う会員に対し、必要な経費の一部を補助する「担い手土地活用促進事業」を実施する。

2) 繁殖牝馬の資質改良

繁殖牝馬の資質改良を促進するため、生産者が資質に優れた繁殖牝馬群を整備するため必要となる優良繁殖牝馬を導入する場合、牝馬の購入に要する経費に対して補助する「優良繁殖牝馬導入促進事業」を実施する。

3) 繁殖牝馬の流通活性化

市場(繁殖牝馬セール)取引による繁殖牝馬の流通活性化を図り、優良な競走馬を安定的に供給できる体制を整備するため、繁殖牝馬のせり市場を開設する者が、現役を引退する競走馬(牝馬)等の市場(繁殖牝馬セール)への上場を促進するための対策を実施する場合に、その実施に必要な経費の一部について補助する「繁殖牝馬流通活性化事業」を実施する。

また、繁殖牝馬の預託受け入れ希望に関する情報提供等の預託を推進するための対策を実施する。

4) ファームヘルパー利用組合への支援

生産者の過重労働環境を緩和するため、ファームヘルパー利用組合の運営に要する経費に助成する「軽種馬ファームヘルパー促進円滑化事業」を実施する。

5) 繁殖牝馬用途変更の奨励

低能力繁殖牝馬の淘汰促進と生産構造の改革を促進するため、生産の廃業又は他作目との複合経営を推進することを条件に、繁殖牝馬の用途変更をした生産者に対し奨励金を交付する「軽種馬生産調整・経営改善対策事業」を実施する。

6) その他

地域の生産者団体及び後継者で組織する団体が行う、生産性の向上及び自らの資質向上等に向けた取り組みに対し助成する事業、軽種馬の生産流通情報提供の円滑化を図るための取り組みに対し助成する事業を実施する。

2. せり市場支援

1) せり市場運営改善対策

(1) せり市場の運営システム対策

市場の円滑な運営を図るため、各種情報の周知及び不測の事態並びに購買者の利便性向上のため、市場開設に必要な各種システム（せり市場表示器・レポジトリー等の市場上場馬動画等情報配信・せり市場オンラインシステム）の貸付、運用及び保守を行う「せり市場運営システム支援事業」を実施する。

(2) 馬房確保

せり市場上場頭数に応じた馬房を確保するため、市場主催者に馬房の一時的設置に要する経費を助成する「せり市場馬房施設レンタル経費助成事業」を実施する。

(3) 開催の円滑化及び活性化

せり市場開催の円滑化及びせり市場活性化を図るため、市場主催者にせり名簿、せり市場ポスターの作成に要する経費等を助成する「市場運営円滑化等促進事業」を実施する。

2) せり市場参加促進対策

(1) 長距離輸送助成

せり市場への産駒上場を促進するため、生産者に対し、遠隔地のせり市場に上場するための長距離輸送に要する経費を助成する「せり市場上場馬長距離輸送助成事業」を実施する。

(2) 市場来場者の利便性の確保

購買者のせり市場参加促進のため、市場主催者に最寄りの空港や宿泊施設からの送迎バス等による市場来場者の利便性の確保に要する経費を助成する「市場参加者来場促進事業」を実施する。

(3) 市場コンシェルジュの配置

新規購買者等のせり市場参加促進のため、市場主催者に対し、せり市場での購買、契約事務、馬運車輸送、育成業者紹介などの購買者サービスを担当する市場コンシェルジュを確保し配置に要する経費を助成する「市場コンシェルジュ設置事業」を実施する。

(4) トレーニングセール上場馬のアナボリック・ステロイド検査

トレーニングセールでの公正な取引を推進するため、市場主催者が、上場予定馬の検査結果の開示を目的に、アナボリック・ステロイド検査を実施した場合、当該検査に要する経費を助成する「トレーニングセール上場馬のアナボリック・ステロイド検査経費助成事業」を実施する。

(5) 市場上場馬の情報開示の推進

せり市場取引の透明性と信頼性を高めるため、生産者がせり市場上場馬のレントゲン検査及び上部気道内視鏡検査の情報開示(レポジトリー)をした場合、その経費の一部を助成する「軽種馬流通活性化事業」において実施する。

(6) 市場上場馬の馴致育成助成

せり市場で適正な評価を得るため、生産者が1歳馬及び1歳市場で未売却等となった2歳馬(生産馬)を調教育成業者に一定期間以上の育成調教等の預託をした場合、その経費の一部を助成する「軽種馬流通活性化事業」を実施する。

3) せり市場流通促進対策

せり市場における流通促進を図るため、市場主催者にせり市場で売却された競走馬の勝馬馬主への市場取引賞の交付に要する経費の一部を助成する「市場上場馬流通の促進・安定化対策事業」を実施する。

4) 牝馬流通対策

牝馬の所有意欲の高揚と牝馬限定競走の維持拡大を図るため、地方競馬の2歳牝馬限定競走の勝馬馬主に副賞を贈呈する「地方競馬の牝馬限定競走勝馬馬主への副賞贈呈事業」を実施する。

3. 農業経営指導

1) 軽種馬生産育成強化資金への利子補給

軽種馬生産に係る施設の近代化等による経営改善を図るため、生産者が資金を借り受け、優良繁殖牝馬の導入又は生産施設の整備等を行う場合、融資機関に一定の利子補給を行う「軽種馬生産育成強化資金利子補給事業」を実施する。

2) 軽種馬経営強化改善資金への利子補給

平成17年から21年の間に軽種馬経営強化改善資金を貸付けた融資機関に対し一定の利子補給を行う「軽種馬経営強化改善資金特別融通事業」を実施する。

3) 軽種馬経営強化改善資金への保証基盤の強化

軽種馬生産地の構造改革を推進するため、軽種馬経営強化改善資金に係る代位弁済対象者の所有する農地が軽種馬生産者等に集積された場合、融資機関に対して経営強化改善資金の債務保証に係る代位弁済を行う基金協会に対し、交付金を交付する「軽種馬経営強化改善資金融通円滑化事業」を実施する。

4) 軽種馬経営継承資金への利子補給および保証基盤の強化

将来にわたって馬産地の安定的維持・発展を図るため、経営の継続が見込まれる軽種馬経営継承者を対象に軽種馬経営継承資金の融通を行った融資機関に対し一定の利子補給を行い、併せて債務保証に対する支援を行う「軽種馬経営継承者借換資金融通事業」を実施する。

Ⅲ. 競馬主催者及び関係団体との連携・協力

競馬及び軽種馬生産地の活性化を支援するため、競馬主催者等と連携・協力し以下の事業を実施する。

1. 会長賞の贈呈

軽種馬生産技術の向上と生産馬の流通促進を図るため、本協会指定の重賞競走(中央・地方)勝馬の生産者及び馬主に対して会長賞を贈呈し表彰する。

これに加え、生産への意欲向上ならびに会員間での切磋琢磨を奨励するため、会員の生産馬を牧場単位でとらえて、その成績の優秀なものに対して河野洋平賞を贈呈し表彰する。

2. 地方競馬活性化支援

1) JBC 競走への協賛

一般社団法人ジャパンプリーダーズカップ協会に対して、本協会種牡馬の種付権利を贈呈する。

2) ホッカイドウ競馬への協賛

ホッカイドウ競馬スタリオンシリーズ競走について、対象競走の勝馬の所有者に対して、本協会種牡馬の種付権利を贈呈する。

3) 牝馬競走活性化対策

牝馬競走の振興と牝馬の入厩促進を図るため、地方競馬で行われるグランダム・ジャパンシリーズについて、各協賛団体から拠出された賞金を該当の馬主、調教師に授与する。

また、佐賀競馬のル・プランタン賞競走及びヴィーナスカップ競走の勝馬の馬主に対して、本協会種牡馬の種付権利を贈呈する。

4) 2歳競走活性化対策

ダート2歳競走の振興と競走馬生産の安定的維持を図るため、地方競馬で行われる2歳チャンピオンシリーズについて、地方競馬全国協会から拠出された賞金を該当の馬主、調教師に授与する。

3. 地方競馬生産牧場賞代理受領

地方競馬主催者(浦和、大井、川崎、船橋、笠松)が交付する生産牧場賞を代理受領し、対象となる軽種馬生産者へ送付する。

4. 海外競馬、生産関係団体との交流

海外の競馬、生産関係団体との相互の親善と理解を深め、競馬の国際交流に努める。

5. 軽種馬せり市場流通の促進への協力

せり市場による公正取引を推進し、適正な価格形成を図るため、本協会が所有する「北海道家畜市場建物」をせり主催者に貸与するほか、本協会が後援する全国各地のせり市場に職員を派遣し、開催支援に従事させるなどの多面的な支援を行う。

6. 軽種馬生産業における人材確保への協力

生産育成牧場への就業者不足を解消し、次世代の優秀な人材の確保を図るため、公益社団法人競走馬育成協会が実施する事業に事務局として参画し、競走馬生産・育成牧場就業応援サイト「BOKUJOB」及び競馬場で開催する牧場で働こうフェア等への企画事務協力を行う。

7. 品評会等の支援

軽種馬の生産育成技術を向上させるため、生産地において開催される品評会等に対して、審査員の派遣と優秀馬の表彰を行う。

IV. 関係機関への要請活動等

軽種馬生産の安定的維持・発展と競馬の健全な発展を図るため、現下の生産をとりまく経済社会情勢と生産地の要請等を充分考慮し、生産基盤の強化と競馬振興に係る下記の各事項をとりまとめ、関係機関等に対し実現を要請する。

- ① 生産流通対策等に関する事項
- ② 防疫対策の充実に関する事項
- ③ 国際化への対応に関する事項
- ④ 地方競馬の振興に関する事項